

島根県立図書館運営方針及び活動計画（平成31年3月）における総括

●島根県立図書館運営方針及び活動計画（平成31年3月）における「成果指標」の進捗状況

資料1

目 標	指 標	(参考指標)	実 績					数 値 目 標		令和元年度～令和5年度における評価
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	目標 (2023年度)	説明	
1. 人を育てる図書館	① 遠隔地利用者図書貸出サービスの利用件数	347件	399件	427件 (絵本バッグ60件)	653件 (絵本バッグ87件)	842件 (絵本バッグ51件)	829件 (絵本バッグ33件)	380件	毎年5%増加	遠隔地在住者のニーズを捉えたサービスであり、目標を大幅に上回るペースで数値が増加した。県立図書館に来館しなくても利用者登録ができるようにするなど、さらなる利用促進に向けて利便性の向上と利用方法の周知（広報）を行う必要がある。
	② 読書普及指導員派遣件数	41件	44件	36件	28件	—	—	毎年35件以上		令和2～3年度はコロナの影響を受けて派遣件数が減少。（令和3年度末で読書普及指導員の配置は終了）令和4年度以降は、県教育委員会において、研修会や啓発活動の手法を変更して実施し、乳幼児期からの本に親しむ環境づくりに取り組んでいる。
	③ 読書ボランティアを対象とした研修への参加者数	420人	274人	118人	172名	67名	116名	毎年350名以上		読書普及指導員の配置終了等の影響により参加者数は目標に達しなかったが、令和4年度以降、年2回のペースで研修を実施した。各地域において読み聞かせ等の読書普及活動が推進されるよう、読書ボランティアのスキルアップを目的とした研修に今後も継続して取り組むことが必要。
	④ 指導主事派遣事業件数	8件	12件	5件	10件	—	—	毎年10件以上	市町村・学校への研修講師派遣H30新規事業	市町村からの需要も多く派遣対応していたが、令和4年度より校内研修等の講師派遣依頼は教育指導課へ移管した。
2. 地域を支える図書館	⑤ 相互貸借（協力貸出）冊数	10,256冊	10,238冊	9,642冊	9,681冊	9,934冊	9,588冊	毎年12,000冊以上	県内図書館への相互貸借件数	個人による遠隔地貸出が市町村図書館を経由せずに利用できるようになったこと等から減少傾向にあるが、引き続き相互貸借による市町村図書館への資料支援は必要。
	⑥ 県内公共図書館の県民一人あたりの個人貸出冊数	4.81冊	4.80冊 (3,209,170冊/668,162人)	4.11冊 (2,742,663冊/666,970人)	4.64冊 (3,064,769冊/659,098人)	4.18冊 (2,720,807冊/650,900人)	4.35冊 (2,800,363冊/643,316人)	4.8冊		令和2年度以降のコロナや、令和4年度の松江市立中央図書館の大規模改修工事に伴う臨時休館の影響を受け、目標数値に達しなかった。県民にとって身近な市町村図書館の活用が進むよう図書館サービスに関する情報提供等に努める必要がある。
	⑦ 図書館研修参加人数	947人	814人	353人	396人	472人	672人	毎年延べ1,000人以上	図書館関係職員研修・学校図書館研修	コロナの影響を受け、実施回数の減少や参加定員数の見直しなどにより、目標参加者数に達しなかった。オンライン配信や講義コンテンツの作成など開催方法について検討し、市町村図書館等の職員が受講しやすい研修会を実施し、スキルアップ支援を図る必要がある。
3. 暮らしに役立つ図書館	⑧ レファレンス受付件数	10,772件	10,208件	5,959件	8,119件	7,198件	7,560件	毎年10,000件以上		レファレンスの受付件数はコロナ前の実績まで戻っていないが、幅広い調査・研究のニーズに応えるためには、多様なレファレンスに対応できる専門的な知識と経験を備えた司書を養成し、レファレンスサービスの質的向上を図ったり、多くの方に利用してもらえるよう広報の強化に取り組む必要がある。
	⑨ レファレンス協同データベース事例公開件数	50件	124件	68件	61件	32件	34件	毎年60件以上		これまでに約1,200件のレファレンス事例をインターネット上で公開しているが、遡及分の事例登録が完了したことから新規の登録数が減少した。しかし、事例の公開は有効なレファレンス支援となっているため、引き続き様々な事例を集めて公開に努める。
	⑩ 横断検索による検索数	77,216件	101,321件	79,984件	100,304件	116,826件	95,713件	78,000件		図書館の蔵書のインターネット検索が一般的になってきていること、令和4年3月のシステム更新により検索しやすくなったことにより、当初の目標を大幅に上回った。（ただし検索数が大幅に増減する要因は不明）
	⑪ 連携講座、講演会等の参加人数	23.4人	16.3人	9.4人	15.1人	11.5人	11.8人	平均20人以上		コロナの影響を受け、実施回数の減少や参加定員数の見直しなどにより、目標参加者数に達しなかったが、県民が参加しやすいよう令和5年度には隠岐、飯南、浜田において法テラス講演会を開催するなどした。来館が困難な県民に対し生涯学習の機会を提供できるよう、引き続き開催場所や実施方法について検討が必要である。
4. 郷土の歴史・文化を伝える図書館	⑫ 郷土関係記事・内容入力件数	137,796件	144,456件	152,872件	159,338件	168,484件 (令和4年度9,146件)	175,272件 (令和5年度6,788件)	160,000件 (累計)	年間4,000件	逐次刊物及び論文集等の目次から、島根に関する記事や論文データを登録することで、探している情報に素早くアクセスできるようにしており、今後もデータの蓄積を継続して行い、サービスを提供することが必要である。
	⑬ 郷土資料所蔵リスト等公開件数	10件	0件	3件	8件	12件	1件	60件 (累計)	年間12件	調べ物に役立つ郷土関係の図書リストを毎年12件新規公開する予定だったが、既存リストの内容更新作業を優先したため目標に達しなかった。しかし、この図書リスト情報を、全国の図書館で利用できるレファレンス協同データベース内にある「調べ方マニュアル」を利用して公開したところ、被参照件数が大幅に増加（R1:147件→R5:5,680件）したことから、今後もこのツールを活用してレファレンスに役立つ情報提供を図る。